

# Game Report

開催場所：福岡大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 9 月 28 日(土)

試合時間：15：00～

CC：徳丸 昂

U1：中屋敷 大

U2：小川 智弘

九州共立大学	○ 76	13	—1st—	14	● 59	鹿屋体育大学
		19	—2nd—	16		
		21	—3rd—	18		
		23	—4th—	11		

## 第 1 クォーター

鹿体大 # 1 2 川尻のゴール下シュートで試合がスタート。九共大はディフェンスリバウンドからの早い展開の攻めで得点を重ね、鹿体大はゴール下での攻撃で得点を重ねる。中盤、鹿体大の連続得点で 8 点差を付け広げるが、九共大 # 1 1 久保田が連続得点により点差を縮め、13-14 の鹿体大のリードで第 1 クォーターを終える。

## 第 2 クォーター

序盤、鹿体大 # 2 櫻谷が 3 P シュートを沈める。九共大 # 2 4 モハメドがゴール下でバスケットカウントを決め、流れを作る。両チームハードなディフェンスにより中々得点に繋ぐことができていない。鹿体大 # 5 迎の 3 P シュートが入り、流れを作る。流れが悪くなった九共大は残り 3 : 20 でタイムアウトを請求する。終盤、九共大 # 8 上田の連続得点により、同点に追いつく。32-30 の九共大リードで第 2 クォーターを終える。

## 第 3 クォーター

前半同様、速い展開で攻める九共大は、セットプレーからノーマークを作り、# 1 4 田川、# 1 1 久保田が次々に得点していく。対する鹿体大は # 2 3 松井がゴール下でバスケットカウントを取り、続けて # 1 2 川尻がゴール下で存在感を示し、得点を繋いでいく。しかし、九共大 # 8 上田、# 3 奥田の連続得点により流れを渡さず、53-48 の九共大リードで第 3 クォーターを終える。

## 第 4 クォーター

最終クォーターに入っても、両チーム共にハードなディフェンスを続け、中々得点に繋ぐことができず、点差は縮まらない。九共大 # 3 奥田の連続得点からさらに点差を広げる。対し、鹿体大は # 2 1 池浦、# 2 4 宮崎を中心に攻めるが得点あまり伸びていない。九共大 # 1 1 久保田を中心に得点を重ねる。終盤、試合を決定づける九共大 # 1 1 久保田のバスケットカウントが決まり、76-59 で九共大が勝利を収めた。